

## 第1時限目 株式とは何か？

①株式とは何か？ (1) 株式会社の由来 (2) 株式投資は投資家に有利にできている (3) 財務諸表はどうして出来たのか？ (4) 株式会社の利益は株主のもの (5) 株式投資で利益を出す2つの方法 (6) 現金配当と株主優待について ②株式取引について (1) 証券市場と証券会社、投資家とのかかわり (2) プライマリー市場とセカンダリー市場 (3) 証券会社の選び方 (4) 特定口座とNISAについて (5) 株式投資の税金

## 第2時限目 株式投資の基礎

①株式投資の基本 (1) 市場の種類と取引時間 (2) 市場のルール (最低売買単位、呼び値、ストップ高・安) (3) 新規上場について (4) 株式分割について (5) 公募増資とライツオファリング (6) 立会外分売 ②株式の情報の採り方 (1) 会社四季報 (2) インターネットの情報 (3) 決算短信の基本 (5) バリューストックとグロース株とは (6) 33業界の特色について

## 第3時限目 実際の売買注文

①売買注文 (1) 証券コードとは？ (2) 注文方法～指値と成行、期間、株数、株価 (3) 逆指値など特殊な売買方法 (4) 気配値の見方 (5) 歩み値 ②信用取引 (1) 信用取引とは？ (2) 制度信用と一般信用 (3) 信用取引のメリット・デメリット (4) 信用取引の注文方法 (5) 追証 (6) 信用倍率 (7) 信用評価損益率

## 第4時限目 銘柄の選び方

①銘柄選びの重要ポイント (1) 銘柄をどのような基準で選ぶか？ (2) 業績が良い点 (3) 株価トレンドで判断する (4) 株価水準で判断する (PER、PBR、PEG) (5) 長期投資に必要、独自の強み ②定量分析と定性分析 (1) 定量分析と定性分析とは何か？ (2) 定量分析のメリット・デメリット (3) 定性分析のメリット・デメリット (4) 情報はどこで取るのか？ ③投資方法によって銘柄選択基準は異なる (1) 様々な投資スタンス (2) それぞれのメリットデメリット

## 第5時限目 ファンダメンタル情報の採り方

①会社四季報の見方 (1) 業績情報の見方 (2) 文章の見方 (3) 株価指標の見方 (4) 財務指標の見方 (5) 四季報の賢い使い方について ②決算短信の見方 (1) 決算短信とは？ (2) 表紙と定性情報 (3) 業績情報の見方 (4) 定性情報の見方 (5) 決算説明資料も活用しよう

## 第6時限目 株式投資で覚えておくべきテクニカル分析とチャート (1)

①チャートの分析の基礎 (1) 株価チャートは何のため見るのか？ (2) ローソク足とは (3) 移動平均線とは (4) 出来高とは (5) ローソク足と出来高の組み合わせからわかること (6) ボックスとレンジ ②ローソク足の組み合わせ (1) ローソク足組み合わせ (窓、孕み足・含み足) (2) ローソク足組み合わせ (アイランドリバーサル) (3) 酒田五法 (三山、三川、三空) (4) 酒田五法 (三兵、三法) ③ダウ理論 (1) テレンドかレンジか (2) テレンド転換

## 第7時限目 株式投資で覚えておくべきテクニカル分析とチャート (2)

①チャートパターン (1) 指示線と抵抗線 (2) もみ合いからの上放れ・下放れ (3) 値幅調整と日柄調整 (4) カップウィズハンドル (5) ソーサーウィズハンドル (6) ダブルトップ、ダブルボトム (7) ヘッドアンドショルダー、逆三尊 (8) 三角持ち合い (9) フラッグ (10) ゴールデンクロスとデッドクロス (11) パーフェクトオーダー ②グランピルの法則 (1) 買い (売り) のパターン1 (2) 買い (売り) のパターン2 (3) 買い (売り) のパターン3 (4) 買い (売り) のパターン4

## 第8時限目 株式投資で覚えておくべきテクニカル分析とチャート (3)

①テクニカル指標とは (1) テクニカル指標とは (2) オシレーター系テクニカル指標とテレンド系テクニカル指標 ②オシレーター系テクニカル指標 (1) RSI (2) ストキャスティクス (3) サイコロジカル (4) RCI (5) DMI (6) ウィリアム %R (PCR) ③テレンド系テクニカル指標 (1) エリオット波動 (2) 移動平均線 (3) ボリンジャーバンド (4) 一目均衡表 (5) MACD (6) パラボリック (7) エンベロープ

## 第9時限目 財務諸表の見方

①主要三票 (1) 主要三表とは？ (2) 主要三表の相互のつながり ②財務指標 (1) 成長率 (2) ROE・ROA (3) 総資産回転率、レバレッジ、純利益率 (4) 営業キャッシュフローレシオ (5) 当座比率と流動比率 自己資本比率 デッドエクイティーレシオ ③損益計算書 (1) 売上と6つの利益 (2) 原価償却とのれん (3) JA-GAAPと国際会計基準 (4) EBITDA (5) 異常値の検出

## 第 10 時限目 財務諸表の見方

①貸借対照表 (1) 貸借対照表の由来と仕組み (2) 資産の部 (3) 負債の部 (4) 純資産の部 ②キャッシュフロー計算書 (1) キャッシュフロー計算書の意味 (2) 営業キャッシュフロー (3) 投資キャッシュフロー (4) 財務キャッシュフロー (5) フリーキャッシュフロー ③危険な会社の見分け方 (1) 売上債権急増ケース (2) 在庫急増ケース (3) 負債急増ケース

## 第 11 時限目 相場サイクル

①相場サイクル (1) 景気循環 (2) 相場サイクル (3) 各サイクルの見分け方 ②経済指標 (1) 金利(イールドカーブ)と株式 (2) 景気ウォッチャー指数 (3) その他、日本の経済指標 (4) 為替について (5) 米国の経済指標 (6) 中国の経済指標 ③アノマリー (1) 月間のアノマリー (2) 大統領選挙のアノマリー

## 第 12 時限目 リスク管理と投資マインド

①リスク管理 (1) リスクの考え方 (2) テールリスクの考え方 (3) 資金管理 (4) 分散投資 (銘柄的分散と時間的分散) ②投資マインド (1) 上達につながる投資を行おう、侵してもいいリスクと侵してはいけないリスク (2) 必ず根拠を持って投資をしよう (3) 損切は必要経費 (4) マイルールについて ③行動経済学 (1) 損切が出来ない理由 (2) アンカリング (3) サンクコスト (4) 現状維持マインド

# FX 投資に関する講義

## 第 1 時限目 FX 投資家として一人前になるまでに必要な育成ステップ

相場分析法には、チャート分析(テクニカル分析)とファンダメンタルズ分析があるが、まずは、チャートの基本が読めるようになることが早道 ①ロウソク足 (1) ロウソク足の形状(フォーメーション)の意味 (2) ダブルトップ (3) ヘッドアンドショルダー (4) トリプルトップ (5) ダブルボトム (6) トリプルボトム (7) 三兵 (8) たくり線 (9) 首つり線 (10) 寄せ線 ②移動平均線 (1) 長短の移動平均線 (15 分足、1 時間足、週足、月足などでも可) (2) 5 日移動平均線 (3) 10 日移動平均線 (4) 25 日移動平均線 (5) 90 日移動平均線 (6) 120 日移動平均線 (7) 200 日移動平均線

## 第 2 時限目 FX 投資で覚えておきたいトレンド相場とレンジ相場の違いを認識

(1) トレンド相場の心得、特に上昇トレンドのトレード法、Buy and hold (買って持ち続ける) (2) トレンド相場からレンジ相場への変わり目を認識 (3) レンジ相場の心得、レンジ相場の 3 段階 (4) レンジ相場からトレンド相場への変わり目の認識 (5) 客観的な認識法、1) 複数の移動平均線の収束 2) ポリリンジャーファイブ と 2) の収束が意味すること

## 第 3 時限目 FX 投資で覚えておきたいファンダメンタルズ分析

(1) エコノミストのファンダメンタルズ分析とは違う(トレーダーは儲けるのが仕事) (2) ファンダメンタルズから、マーケットセンチメント(心理)を読む (3) 多数派の見方を知る (4) 大きな誤解「経済指標・イベント発表に賭ける」「(スルーザフィギュア)」という (5) リスクが高すぎる、プロはやらない (6) 結局、ファンダメンタルズ分析は理論的なようでいて、実は心理戦

## 第 4 時限目 日本人投資家は食いにされていることを知る

(1) 日々、ロンドン勢のショートスクイズ、ロングリクイデーション (2) 1 月の三が日、仕事始め相場(知る限りここ 30 年毎年のように狙われている) (3) 円というマザーカレンシー(日本にとっての母国通貨)は本邦勢が仕切る気概が必要(今、東京市場の一番大きな存在が個人投資家だからこそ、その意識が必要)

## 第 5 時限目 相場の格言からマーケットセンチメントを知る

(1) 投機をなすもの、楽悲を戒む。相場につれを作らず、人の行く裏に道あり花の山 など、ストイックの必要性を訴えたもの (2) すごい買い、よくよく聞けばロスカット のように相場の仕組みを語るもの

## 第 6 時限目 相場の仕組みを語る格言から値動き分析がわかる

(1) ジリ高、ジリ安を始める相場心理 (2) ジリ高、ジリ安開始後の相場心理 (3) 我慢が出来なくなっただけの急騰、急落 (4) 高止まり、安値圏のお継続の意味(ショートスクイズやロングリクイデーションはこの相場の仕組みに乗ったもの)

## 第7時限目 マーケット特性を知る

(1) 日々の相場の時間割～東京とニューヨークと、ロンドンとは攻め方が違う～ (2) 東京市場とニューヨークは電撃戦 (3) ロンドン市場はショートスクイズ、ロングリクイデーション (4) 年間の財務会計相場 毎年各月一回のことだけに忘れていて、やられてから気づくことが多いだけに重要

## 第8時限目 本当のリスク管理を実践する

(1) 不測の事態への対応 (2) 油断しない (3) 身構える (4) 自分を守るのは自分しかいない

## 第9時限目 こうして話してきたことをカスタマイズする

自分のものにするということ

# 相場理解・コモディティに関する講義

## 第1時限目 コモディティとは何か？

①コモディティとは何か？ (1) コモディティは生活必需品 (2) コモディティは経済に影響を与える (3) コモディティの分類 ②コモディティ取引について (1) 現物市場の重要性 (2) 先物市場の存在 (3) 現物・先物市場の関係 (4) CFD取引

## 第2時限目 コモディティの基礎

①コモディティの基本 (1) 市場の種類と取引時間 (2) 市場のルール (取引単位、呼び値) (3) 現物市場の取引 ②コモディティの分類 (1) 貴金属市場 (2) 非鉄金属市場 (3) エネルギー市場 (4) 農産物市場

## 第3時限目 実際の売買注文

①売買注文 (1) コモディティ銘柄 (2) 注文方法～指値と成行、取引枚数、価格 (3) 逆指値 (4) 気配値の見方 ②先物取引とCFD取引 (1) 先物取引 (2) CFD取引 (3) 現物取引

## 第4時限目 銘柄の選び方

①銘柄選びの重要ポイント (1) 銘柄選定の基準 (2) 貴金属銘柄の特性 (3) 非鉄金属銘柄の特性 (4) エネルギー銘柄の特性 (5) 農産物銘柄の特性 ②定量分析と定性分析 (1) 定量分析と定性分析とは何か？ (2) 定量分析のメリット・デメリット (3) 定性分析のメリット・デメリット

## 第5時限目 ファンダメンタル情報の取得

①ファンダメンタルズ情報 (1) ファンダメンタルズとは？ (2) 需給動向の見方 (3) ファンダメンタルズ材料の利用方法 ②各セクターの需給動向の見方 (1) 貴金属市場の見方 (2) 非鉄金属市場の見方 (3) エネルギー市場の見方 (4) 農産物市場の見方

## 第6時限目 経済指標と景気循環およびシーズナリティ

①経済指標 (1) 経済指標の重要性 (2) 世界経済の見方 (3) 米国の経済指標 (4) 中国の経済指標 ②景気循環 (1) 景気循環 (2) 相場サイクル (3) 各サイクルの見分け方

## 第7時限目 シーズナリティ

(1) シーズナリティの重要性 (2) 貴金属銘柄のシーズナリティ (3) 非鉄金属銘柄のシーズナリティ (4) エネルギー銘柄のシーズナリティ (5) 農産物銘柄のシーズナリティ

## 第8時限目 為替市場とコモディティ

(1) 為替相場の見方 (2) 為替相場とコモディティの関係 (3) 主要通貨とコモディティの関係 (4) 新興国通貨とコモディティの関係

## 第9時限目 コモディティ投資で覚えておくべきテクニカル分析

①チャート分析の重要性 (1) チャートの重要性 (2) ローソク足 (3) 平均足 (4) トレンド分析の方法 ②テクニカル指標 (1) トレンド系指標 (2) オシレーター系指標 (3) トレンド分析の方法 (4) 指標の組み合わせによる判断

## 第10時限目 コモディティトレード

①コモディティトレードの考え方 (1) 順張り (トレンドフォロー) (2) 逆張り (コントラリアン) (3) コモディティトレードの基本 (4) レバレッジ取引の注意点 ②コモディティトレードの実践 (1) 貴金属銘柄のトレード (2) 非鉄金属市場のトレード (3) エネルギー市場のトレード (4) 農産物市場のトレード

## 第11時限目 リスク管理

①リスク管理 (1) リスクの考え方 (2) ポジション管理の実務 (3) 利益・損失の管理 (4) 銘柄分散の重要性 ②取引ルールの確立と管理 (1) 再現性を担保する (2) 取引ルールの構築 (3) ルールの実行と取引の確認 (4) ロスカットの重要性 (5) メンタルコントロール

※講義内容、講師は変更となることがあります。

※講義内容は、順次公開されます。

